

令和4年度青少年活動交流センター事業評価表

区分	No.	事業名	目的	事業概要（期日、参加者、内容等）	事業評価				総合評価	今後の事業方針						
					必要性 (30)			達成度 (30)			効率性 (30)			その他 (10)		
					①必要性・優先度	②県民のニーズ	③代替可能性	①数値目標			②満足度	③周知・理解	①費用対効果		②計画どおりか	③負担はないか
全般的業務		センター利用者数	センターの管理運営 「県民活動交流センター」入居施設等との連携 その他管理一般業務	センター利用者数 センターの利用者数:「団体活動室等利用者」、「いわて希望塾」、「いわて親子フェスティバル」、「相談件数」を合計したもの	A(30) ①:10 ②:10 ③:10	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 【目標値】12,130名 【実績(1月末日現在)】	A(30) ①:10 ②:10 ③:10		A(90)							
(1)活動	1	①青少年活動の場の提供・環境整備	青少年の主体的な活動を支援するために必要な指導・助言などを行う。青少年活動交流センターがターミナル的な役割を担い、年間ボランティア登録者への定期的な情報提供など青少年ボランティアネットワークの構築を図る。	青少年関係団体等の自主的な活動を側面から支援するため、団体活動室等の利用について、関係団体やNPO等に積極的に働きかけるとともに、利用者のニーズに合わせた活動、交流場所の提供及び情報交換に利用できる展示環境を提供 期日:通年 内容:青少年のニーズに合わせた活動場所を提供できるよう、青少年健全育成関係団体を対象とするアイーナ内での事業展開場所の提供及びオンライン化(非対面型の活動)の支援(パソコン、webカメラ等の情報発信器材等提供を行った。	A(30) ①:10 ②:10 ③:10	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 【目標値】 コーディネート5回 団体活動室等利用者8,140名 【実績】 コーディネート50回 団体活動室等利用者10,269名	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 人件費を除く費用(0千円)		A(90)	県民のニーズに対応した内容により継続して実施する。						
	2	②青少年活動サポート事業 (1)「青少年ボランティアネットワークの構築」	いわて親子フェスティバル等のセンター事業へのボランティア参加者が、事業の企画段階から参画するとともに、相互に交流する機会を設けることにより、ボランティア活動の活発化を促進する。	いわて親子フェスティバルをはじめとするセンター事業へのボランティア参加者を募集。青少年ボランティアに対しては、事業を通じたボランティアに関する研修の実施や相互に交流する場を設けることなどにより、ネットワークの構築と活動の活発化を促進 期日:通年 内容: いわて親子フェスティバルのボランティア(109名)による企画会議(5回)及び実行委員会(1回)など、事業を通じた研修や交流を行い、ボランティア相互のネットワーク形成の機会を設けた。また、ボランティア間の情報交流が進むようパソコン等環境の整備を進めた。 参加者:県内に在住する概ね16歳~30歳の青少年、登録ボランティア(109名)を含め、延758名 ※令和5年1月末日現在	A(30) ①:10 ②:10 ③:10	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 【目標値】400名 【実績】758名	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 人件費を除く費用(0千円)		A(90)	引き続き、県内5大学、専門学生等に、募集の働きかけを行うとともに、オンラインでの参加を含めてボランティア相互のネットワーク形成及びボランティアのスキルアップを図る研修を開催するなど内容を充実させる						
	3	(2)いわて希望塾	市町村の枠を越えた体験活動や交流活動を行うことにより、積極的に岩手の「地域づくり」を担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。	中学生を対象とし、集合研修を通じ、積極性、協調性を養成するとともに、地域づくり活動に関わるプログラムを各市町村と連携して実施することにより、継続的な地域づくり活動への参画を促した。 令和4年11月5日(土)岩手県立県北青少年の家(二戸市) 参加者:塾生(中学生)46名・青年サポーター1名 内容: ・ワークショップ・グループディスカッション 講師:及川 未希生氏 ・地元講師による講話 講師:御所野縄文博物館館長 高田 和徳氏 ・塾長(岩手県知事)メッセージ、塾長との対話 ・ふりかえり	A(30) ①:10 ②:10 ③:10	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 【目標値】 塾生50名、青年サポーター10名 【実績】 塾生46名、青年サポーター12名	A(30) ①:10 ②:10 ③:10 人件費を除く費用(948千円)		A(90)	ボランティア養成も兼ね、引き続き県内5大学、専門学生等に対して、青年サポーターへの参加を呼び掛ける。						

区分	No.	事業名	目的	事業概要（期日、参加者、内容等）	事業評価				総合評価	今後の事業方針						
					必要性(30)			達成度(30)			効率性(30)			その他(10)		
					①必要性・優先度	②県民のニーズ	③代替可能性	①数値目標			②満足度	③周知・理解	①費用対効果		②計画どおりか	③負担はないか
(1) 活動	4	③青少年健全育成のための地域による情報メディア対応促進事業	青少年のインターネットやスマートフォン等の利用が増え、有害情報で被害を受けたり、ネット上の誹謗、中傷、いじめなど青少年の健全育成上様々な課題が生じていることから、情報機器の正しい利用について地域での主体的な取組を促進し、青少年の健全育成を推進する。	(1) 情報メディア対応力養成講座（4地域） 沿岸地区（大船渡市11/25）、県南地区（花巻市12/1）、 県北地区（二戸市12/2）、 県央地区（滝沢市12/7） 合計（4回）98名 オンライン配信視聴回数：83回	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：0 ②：10 ③：10 【目標値】170名 【実績】181名	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 人件費を除く費用 （5千円）		A(90)	有害情報から青少年を守るための啓発活動のほか、ニーズに対応した内容により実施する。						
				(2) 情報メディア「出前」講座（10回） 小学校、中学校、高等学校、PTA、公民館等 延べ800名	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 【目標値】出前5回 【実績】出前10回	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 人件費を除く費用 （0円）		A(90)							
				(3) 情報メディア対応機関連絡会議 最新のネット上の課題、相互の連携の在り方等についての協議・意見交換等 期日：令和4年5月26日（木） 会場：アイーナ6階 講師控室1・2 参加機関・団体：7名（岩手県教育委員会事務局学校教育室、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課、県立生涯学習推進センター、県立総	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 【目標値】（自主）1回 【実績】1回	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 人件費を除く費用 （0円）		A(90)							
				(4) 「情報メディア関連の情報提供・啓発活動」の実施 インターネット・スマートフォン等の正しい利用について、啓発用品を制作し、県内中学生全員（30,000部）に配布	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 【目標値】30,000部 【実績】30,000部	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 人件費を除く費用 （550千円）		A(90)							
(2) 交流	5	地域づくり促進事業  (1) いわて親子フェスティバル	青少年の健全な育成・成長に果たすべき第一義的な責任は、家庭・保護者であり、家庭における対話やふれあいが重要であることについて啓発するとともに、地域全体で子育てを行う機運を醸成する。	子育て、家庭教育、親子の対話等をテーマとする講演を中心とするセミナー及び親子や家族で楽しみ、ふれあいを深めるイベントを開催  いわて親子フェスティバル（アイーナ内入居団体との共催及びNPO・企業等の協力による） 期日：令和4年10月2日（日） 会場：いわて県民交流情報センター（アイーナ） 参加者：親子6,053名、協力団体・出演者、青少年ボランティア 109名 内容： ① SL乗車 等 ② 親子で遊ぼう・親子で体験（親子で挑戦、親子で作る）等 ③ 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール作品展等  ※ 青少年ボランティアによる企画会議（5回）及び実行委員会1回）の開催など事業を通じた研修や交流を行った。	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 【目標値】3,500名 【実績】6,053名	A(30) ①：10 ②：10 ③：10 人件費を除く費用 （627千円）		A(90)	アイーナ入居団体等と連携・協働して、引き続き親子で参加できるイベントとして継続して実施する。						

区分	No.	事業名	目的	事業概要（期日、参加者、内容等）	事業評価				総合評価	今後の事業方針						
					必要性(30)			達成度(30)			効率性(30)			その他(10)		
					①必要性・優先度	②県民のニーズ	③代替可能性	①数値目標			②満足度	③周知・理解	①費用対効果		②計画どおりか	③負担はないか
(2) 交流	6	(2) 子ども・若者支援セミナー	社会生活を営む上での困難を有する青少年の現状や支援方法について、専門家による基調講演や関係団体代表等による事例検討会などを内容とする公開講座を開催し、今後における「子ども・若者支援」の推進に係る機運の醸成と県民への啓蒙	社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者の現状や社会的背景及び支援方策について幅広く学習するとともに、専門家による講座（講話及びワークショップ）を開催 社会生活に困難を有する子供・若者支援セミナー 期 日：令和5年2月8日（水） 会 場：アイーナ6階 団体活動室3 内容：講演 発達障がいと「気になる子ども」の理解 盛岡大学短期大学部教授 嶋野 重行 氏 参加者：青少年育成団体、市町村青少年担当者、学校、幼保園関係者等 60名（うちオンライン参加50名） 課題解決セミナーin滝沢（滝沢市との共催） 期 日：令和4年7月23日（土）、30日（土） 会 場：ビッグルーフ滝沢大ホール（滝沢市） 内 容： 第一部（7月23日） 発達障害の理解と支援に関する講演・現状報告・トークセッション 第二部（7月30日） ペアレントトレーニング演習 参加者：青少年育成団体、市町村青少年担当者、学校、幼保園関係者等	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	実施に当たっては、機関相互の連携の強化を図る。						
	7	青少年活動情報発信事業	青少年の健全育成に関する様々な分野の情報を広く収集し、県民がいつでも気軽に活用できるよう運営する。	青少年活動交流センターにおける各種事業の実施や青少年育成活動の先進的取組等に係る様々な情報について、広報活動を行った。 青少年健全育成広報事業 ①広報紙「青少年いわて」（11月、3月・各1,800部発行） ②インターネットによる広報（http://www.aiina.jp/site/seishounen/） アクセス数 42,535件 情報発信 174日 ※令和5年1月末現在 ツイッターフォロワー 739名 フェイスブック友達 147名 ③リーフレット 青少年健全育成県民運動啓発 ④啓発活動 いわて家庭の日・相談室PRカード、クリアファイル配布 1,000部 「いわて家庭の日」カレンダー電子版の配信 各市町村等12回（毎月1回）	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	県民のニーズに対応した内容により継続して実施する。						
(4) 相談	8	相談事業 (1) 青少年なやみ相談室の運営	青少年やその家族等が抱える様々な問題等の解決に資するため、青少年及びその家族等からの相談に応じるとともに、青少年活動に関する情報提供を行う。	非常勤の相談員3名により、青少年の悩み、青少年を取り巻く家族等の悩みや青少年活動に関する電話、面接及びメールによる相談を行った。 電話相談、面接相談、メール相談 合計998件（令和5年1月末日現在） 相談時間 9:00～16:00（月・木のみ9:00～20:00）	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	引き続き、相談室の周知のため、中・高校へのPRを行うほか、保護者の需要に対応するため、保護者への積極的な周知を図る。						
		(2) 青少年相談事例検討会の開催	県内の関係相談機関における相談事例の検討を行うことにより、相談関係者の指導力の向上及び	相談員間の事例に関する情報共有及び事例検討の機会を確保するとともに、相談スキルを向上させるため、他相談機関の相談職員をも対象とした事例検討会を行った。 ○第1回（研修会） 令和4年10月25日(火) アイーナ5階 501会議室 参加者：28名（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	実施に当たっては、事例検討による相談対応能力を向上さ						

区分	No.	事業名	目的	事業概要（期日、参加者、内容等）	事業評価				総合評価	今後の事業方針						
					必要性（30）			達成度（30）			効率性（30）			その他（10）		
					①必要性・優先度	②県民のニーズ	③代替可能性	①数値目標			②満足度	③周知・理解	①費用対効果		②計画どおりか	③負担はないか
			相談関係機関の連携の推進を図り、青少年の健全な育成に資する。	<p>参加者：20名（青少年団体 青少年育成団体及〇市町村民会議 NPO等）</p> <p>※YouTubeによる動画配信（11月1日～12月27日、視聴回数 41回）            内容：「学校から見えてくる子供と家庭の姿 ～ソーシャルワークの視点から～」            盛岡教育事務所スーパーバイザー兼スクールソーシャルワーカー            岩手県社会福祉士会 砂田 麻子 氏</p> <p>○第2回（模擬事例検討）令和5年3月1日（水）アイーナ8階 804B会議室</p>					【目標値（自主）】65名 【実績】69名（うちオンライン参加41名）	人件費を除く費用（142千円）		せるほか、相談機関相互の連携を図ることにより相談体制の強化を図る。				

区分	No.	事業名	目的	事業概要（期日、参加者、内容等）	事業評価				総合評価	今後の事業方針						
					必要性（30）			達成度（30）			効率性（30）			その他（10）		
					①必要性・優先度	②県民のニーズ	③代替可能性	①数値目標			②満足度	③周知・理解	①費用対効果		②計画どおりか	③負担はないか
(5) 共催事業	9	いわて県民情報交流センター内の他入居施設との共催事業	いわて県民情報交流センター内の拠点施設と今日的課題に対応した事業連携を図る。	アイーナ運営協議会（毎月1回）、県民活動交流センター長会議（毎月1回）に出席 共催事業： 初心者でも楽しめる 囲碁将棋教室（9月） いわて親子フェスティバル（10月 実行委員会1回・当日の企画運営） アイーナ料理教室（11月・3月） あそびの達人2023（1月）	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)							
	10	「こどもの心をつかむわくわくワークショップ」	専門家による実践研修を通じて、豊かなコミュニケーション能力やリーダーシップを養い、子ども・若者への対応能力の向上を図るとともに、若者の主体的活動の促進（ボランティアの育成と活動の活発化の促進）及び将来の青少年育成活動の担い手の育成を図る。	広く子どもとの活動に関心のある方々を対象に、工作やアイスブレイクのポイントを学ぶワークショップを開催  こどもの心をつかむわくわくワークショップ ○第1回 くぼたまさによるおとなのための研修会 期日：令和4年5月8日（日） 会場：アイーナ8階 803会議室 対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 48名 内容：工作を通じ、工作のポイントや子どもとの接し方を学ぶ 講師：久保田 雅人氏 ○第2回 こどもの心をひらくコミュニケーション講座 期日：令和4年6月1日（水） 会場：アイーナ7階 小田島組☆ほ～る 対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 39名 内容：アイスブレイクを通じ、ポイントや子どもとの接し方を学ぶ 講師：成岡大学短期大学部幼児教育科助教 及川 圭彦氏	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	盛岡市以外の地域での事業の開催を検討するほか、ボランティア相互のネットワーク形成など、内容を充実させて実施する。						
(6) 自主事業	11	青少年体験講座	青年ボランティアが連携・協力して子どもたちの活動をサポートすることにより青少年活動に対する遊びを通して仲間意識や思いやりの心等を学び、昔の遊びを体験することにより、異年齢との交流を通じて主体性や協調性を養い、職業や社会の仕組みに関する理解を深める。	あそびの達人  期日：令和5年1月15日（日） 会場：アイーナ 参加者：親子等527名 青年ボランティア21名 内容：昔ながらの遊び等 ※いわて家庭の日ミニイベントと併催	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)	県民のニーズに対応し、内容を充実させて実施する。						
			青少年の職業や社会性を養い、職業や社会の仕組みに関する理解を深める。	おしごと発見ツアー  期日：令和5年1月10日（火） 参加者：小学生20名 ボランティア1名 内容：岩手銀行本店、Manorudaカフェ、いわて花巻空港、成島和紙工芸館の職場見学、職場体験	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10	A(30) ①：10 ②：10 ③：10		A(90)							